

教科・科目	地理歴史・地理総合	単位数	2（前期又は後期）		
		ライン	1	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：地理A				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や特色、相互の関連や概念などを活用して多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明する力を身に付ける。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象の課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、日本国民としての自覚や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについて自覚などを深めようとする。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高等学校 新地理総合(帝国書院)</p> <p>新詳高等地図(帝国書院)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や特色、相互の関連や概念などを活用して多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明する力を身に付けている。	地理に関する諸事情の課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、日本国民としての自覚や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについて自覚などを深めようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1部 地図でとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験
	第2部 国際理解と国際協力			
	第3部 持続可能な地域づくりと私たち			
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第1部 地図でとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験
	第2部 国際理解と国際協力			
	第3部 持続可能な地域づくりと私たち			
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	選択した時期（前期又は後期）に、2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	選択した時期（前期又は後期）に、1回～6回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期（前期又は後期）に、1回合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	① 第1部 地球上の位置と地図の役割 グローバル化する世界	前1	1	2	4/23	4/24	—	4/20	
	3		4						
	② 第2部 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活	前2	1	2	5/14	5/15	—	5/11	
	3		4						
	③ 第2部 世界の言語と人々の生活文化 歴史的背景と人々の生活①	前3	1	2	5/28	5/29	—	5/25	
	3		4						
	④	この回は、実施されません。							
⑤ 第2部 歴史的背景と人々の生活②	前4	1	2	6/25	6/26	—	6/22		
3		4							
⑥ 第2部 地球環境問題と地球的課題	前5	1	2	7/9	7/10	—	7/6		
3		4							
⑦ 第3部 日本の地形と自然災害 被災地への支援	前6	1	2	7/23	7/24	—	7/20		
3		4							
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/20	8/21	—	8/17	
後期	⑧ 第1部 地球上の位置と地図の役割 グローバル化する世界	後1	1	2	10/8	10/16	—	10/5	
	3		4						
	⑨ 第2部 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活	後2	1	2	10/22	10/23	—	10/19	
	3		4						
	⑩ 第2部 世界の言語と人々の生活文化 歴史的背景と人々の生活①	後3	1	2	11/5	11/6	—	11/9	
	3		4						
	⑪	この回は、実施されません。							
⑫ 第2部 歴史的背景と人々の生活②	後4	1	2	12/3	12/4	—	11/30		
3		4							
⑬ 第2部 地球環境問題と地球的課題	後5	1	2	12/17	12/18	—	12/14		
3		4							
⑭ 第3部 日本の地形と自然災害 被災地への支援	後6	1	2	1/7	1/15	—	1/4		
3		4							
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/21	1/22	—	1/18	

6 先生からのメッセージ

世界には様々な気候や風土、暮らしや文化、考え方があり多様な人々が生活しており、世界の人々と理解しあえるために視野と価値観を広げていくことが私たちに求められています。そのために、できるだけ毎回スクーリング出席し、分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。

教科・科目	地理歴史・歴史総合	単位数	2（前期又は後期）		
		ライン	1	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：世界史A				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決する態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	明解 歴史総合(帝国書院)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決する態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	2部 近代化と私たち 3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 4部 グローバル化と私たち	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	2部 近代化と私たち 3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 4部 グローバル化と私たち	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	選択した時期（前期又は後期）に、2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	選択した時期（前期又は後期）に、1回～6回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期（前期又は後期）に、1回合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	① 2部 江戸時代の日本と結び付く世界 欧米諸国における近代化	前1	1	2	4/23	4/24	—	4/20	
	3		4						
	② 2部 近代化の進展と国民国家形成 アジア諸国の動揺と日本の展開	前2	1	2	5/14	5/15	—	5/11	
	3		4						
	③ 2部 近代化が進む日本と東アジア 3部 第一次世界大戦と日本の対応	前3	1	2	5/28	5/29	—	5/25	
	3		4						
	④	この回は、実施されません。							
⑤ 3部 国際協調と大衆社会の広がり 日本の行方と第二次世界大戦	前4	1	2	6/25	6/26	—	6/22		
3		4							
⑥ 3部 再出発する世界と日本 4部 冷戦で揺れる世界と日本	前5	1	2	7/9	7/10	—	7/6		
3		4							
⑦ 4部 多極化する世界 グローバル化のなかの世界と日本	前6	1	2	7/23	7/24	—	7/20		
3		4							
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/20	8/21	—	8/17	
後期	⑧ 2部 江戸時代の日本と結び付く世界 欧米諸国における近代化	後1	1	2	10/8	10/16	—	10/5	
	3		4						
	⑨ 2部 近代化の進展と国民国家形成 アジア諸国の動揺と日本の展開	後2	1	2	10/22	10/23	—	10/19	
	3		4						
	⑩ 2部 近代化が進む日本と東アジア 3部 第一次世界大戦と日本の対応	後3	1	2	11/5	11/6	—	11/9	
	3		4						
	⑪	この回は、実施されません。							
⑫ 3部 国際協調と大衆社会の広がり 日本の行方と第二次世界大戦	後4	1	2	12/3	12/4	—	11/30		
3		4							
⑬ 3部 再出発する世界と日本 4部 冷戦で揺れる世界と日本	後5	1	2	12/17	12/18	—	12/14		
3		4							
⑭ 4部 多極化する世界 グローバル化のなかの世界と日本	後6	1	2	1/7	1/15	—	1/4		
3		4							
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/21	1/22	—	1/18	

6 先生からのメッセージ

歴史総合では、世界の歴史の展開を、世界史だけでなく日本史の視点も活用して学習していきます。その2つの視点から歴史を見ることで自分の価値観を広げていきましょう。そのために、できるだけ毎回スクーリングに出席し、分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。